

事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)



公益財団法人九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

平成 30 年度事業報告について

事業報告

定款第 5 条に基づき、平成 30 年度は、以下の事業を実施した。(総括)

<p>1. 創立 70 周年記念事業</p> <p>(1) 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none">①「九経調 70 年のあゆみー九州・沖縄・山口とともにー」の作成②「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究③九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催④ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供 <p>(2) 募金活動の状況</p>
<p>2. 地域経済研究事業</p> <p>(1) 自主研究事業</p> <ul style="list-style-type: none">①九州経済白書の刊行②月報等定期刊行物の発行③幹事会からの提案による自主研究④地域経済情報のデジタル配信⑤その他の事業 <p>(2) 受託研究事業</p> <p>(3) 九経調地域研究助成・顕彰事業</p>
<p>3. 講演会・セミナーの開催</p> <p>(1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等</p> <p>九州経済白書説明会</p> <p>(2) 定例の講演会・セミナー</p> <ul style="list-style-type: none">①九経調交流会②研究報告会③アジア経済講演会④調査技法セミナー⑤経済講演会⑥地域研究顕彰事業研究発表会 <p>(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント</p> <ul style="list-style-type: none">①イブニングセミナー②地域経営セミナー③共催セミナー④九州国立博物館応援セミナー⑤サイエンスカフェ⑥ビズコリクラブ⑦文化アートイベント⑧まちづくりセミナー⑨ビッグデータセミナー
<p>4. 経済図書館 (BIZCOLI) 事業</p> <p>(1) 地域経済図書館としてのサービス</p> <p>(2) 講演会・セミナー会場の運営</p>
<p>5. 経済団体等支援事業</p> <p>(1) 福岡経済同友会からの事務局受託</p> <p>(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局</p> <p>(3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局</p> <p>(4) 九州水フォーラム 2018 の事務局のサポート</p>
<p>6. 社会貢献活動等</p> <p>(1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣</p> <p>(2) 大学への非常勤講師の派遣</p> <p>(3) テレビ・ラジオ等への出演</p> <p>(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載</p> <p>(5) インターンシップの受入等</p>
<p>7. 運営基盤の拡充</p> <p>(1) 会員数の増加</p> <p>(2) 理事会、評議員会、幹事会、企画委員会の開催</p> <p>(3) 人材育成の強化</p>

1. 創立 70 周年記念事業

(1) 事業概要

①「九経調 70 年のあゆみー九州・沖縄・山口とともにー」の作成

地域の未来を考える一助とするために、終戦直後から 70 年間の九州・沖縄・山口の経済社会の変化を、九経調のあゆみとともに整理して取りまとめ、平成 30 年 12 月末に刊行した。コラム風の文書スタイルを採り入れ、図表、写真を多数盛り込むことでわかりやすくまとめている。九経調と深い関わりのある方に、思い出や九経調への期待などをご寄稿いただいた。

②「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究

前年度に引き続き、30 年後の未来に関する文献調査と統計分析、ヒアリング調査を進め、報告書の執筆を進めている。報告書は、【総論】【各論（地域編）】【各論（産業編）】の 3 部構成で、令和元年秋頃に完成予定である。

③九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催

九州・沖縄・山口の各県において「未来を考えるシンポジウム」を開催している。平成 30 年度は、鹿児島、山口、沖縄の 3 カ所で開催した。

日時・会場	講師	テーマ	参加者数
【鹿児島】 11 月 15 日（木） 城山ホテル鹿児島	「鹿児島の未来の交通インフラを考える」 <基調講演> 京都大学大学院工学研究科教授 藤井聡氏 <パネルディスカッション> コーディネーター： (株)九州経済研究所経済調査部長 福留一郎氏 パネリスト： 国土交通省大臣官房技術総括審議官 増田博行氏 (株)岡本産業代表取締役社長 (株)オキス代表取締役 岡本孝志氏 武盛グローバルコンサルティング代表 武盛武士氏 当会 調査研究部 片山部長	次の時代の交通インフラと モビリティマネジメント 鹿児島の未来を見据えた交 通インフラのあり方につい て	142 人
【山口】 1 月 22 日（火） ホテルサンルート 徳山	「稼ぐ事業・地域を創るために～Industry4.0 時代を迎えた地域戦略～」 <基調講演> (株)野村総合研究所 産業 IT イノベーション事業本部 兼コンサルティング事業本部主席研究員 藤野直明氏 <パネルディスカッション> コーディネーター： (株)野村総合研究所 産業 IT イノベーション事業本部 兼コンサルティング事業本部主席研究員 藤野直明氏 パネリスト： (株)ウェブアイ代表取締役社長 森川勇治氏 (株)グルーヴノーツ代表取締役社長 最首英裕氏 (株)三松代表取締役社長 田名部徹朗氏	Industry4.0 時代の地域戦略 稼ぐ事業・地域を創るために ～Industry4.0 時代を迎えた 地域戦略	207 人

<p>【沖縄】 2月27日(水) ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー</p>	<p>「プレミアム沖縄創生戦略～観光 1,000 万人時代の先を見据えて」 <基調講演> 中央大学経済学部教授 山崎朗氏 <パネルディスカッション> コーディネーター： (一財)日本経済研究所専務理事(代表理事) 新産業創造業務統括兼地域未来研究センター・エグゼクティブフェロー 鍋山徹氏 パネリスト： 沖縄ツーリスト(株)代表取締役会長 東良和氏 (株)前田産業代表取締役社長 前田裕子氏 (株)りゅうぎん総合研究所代表取締役社長 照屋保氏 中央大学経済学部教授 山崎朗氏</p>	<p>プレミアム地方創生と沖縄 プレミアム沖縄創生戦略～観光 1,000 万人時代の先を見据えて</p>	<p>163 人</p>
---	---	---	--------------

④ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

オープンデータ・ビッグデータを活用した「地域経済分析プラットフォーム」の立ち上げに向け、クラウド等の基盤整備や、データの収集・整理を進めた。同プラットフォーム上では、当会の既存の刊行物に掲載しているデータに加え、新たに収集するデータをデジタルで提供するほか、それらのデータを自ら分析・加工した新たな経済指標・サービスを提供できるよう準備を進めた。なお、収集するデータの種類や見せ方については将来的な想定ユーザーから意見を聴取し、そのニーズを反映しつつ構築を進めている。同プラットフォーム上で提供予定のコンテンツは以下の通りである。

ア) 経済動向データ

『九州経済調査月報』において景気分析に用いている月次データ等を、地域別(県別等)かつ全国について可視化する。

イ) 即時景気分析システム

既存の経済動向データや新たに収集したビッグデータを活用し、早期かつ精緻な景気分析を行なう。また、都道府県別の景気動向指数を提供する。

ウ) 経済構造データ/地域経済マップ

『図説九州経済』に掲載しているような地域別の社会経済の年次データについて可視化する。

エ) 九州経済ヘッドライン

月 2 回メルマガで提供しているヘッドラインニュースを整理、データベース化した上で提供する。

オ) ビッグデータシステム

独自に収集したビッグデータを用いた地域経済動向の可視化(宿泊予約サイトの API を活用した全国の宿泊プランデータ等)。

カ) 宿泊施設レベニューマネジメント支援システム

宿泊施設の収益最適化に資する、宿泊プラン完売予測システム等の提供。

※本システムの開発にあたっては、長崎大学 ICT 基盤センターの一藤准教授、ならびに早稲田大学創造理工学部蓮池准教授と共同研究契約を締結して研究を進めている。福岡市を中心に、複数の宿泊先との連携を図り、宿泊関連データの利活用の協議を進めている他、上述の宿泊予約サイトの情報等を組み合わせて、レベニューマネジメント支援システム構築に向けた研究を進めている。

(2) 募金活動の状況

平成 30 年度末時点の募金活動の状況は次のとおりである。

- ・ 募金目標額 1 億円
- ・ 募集期間 平成 28 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
- ・ 依頼先数 119 社
- ・ 寄附承諾 96 社／1 億 579 万円

2. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」を中心に取り組んでいる。

①九州経済白書の刊行

『スポーツの成長産業化と九州経済』 平成 31 年 2 月刊行

「九州経済白書」は、2 月 1 日に「スポーツの成長産業化と九州経済」のタイトルで公表した。令和元年のラグビーワールドカップ、令和 2 年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、スポーツに対する関心がこれまで以上に高まる中、成長産業化が期待されるスポーツ産業について、その実態を概観し、新たなビジネス・地域活性化の芽や課題を明らかにした。その上で、これらの大型スポーツイベント後も持続可能な形でスポーツの力を地域活性化に生かしていくための方策を取りまとめた。

②月報等定期刊行物の発行

1) 九州経済調査月報

毎号、特集としてテーマを設定し、一体性を持たせた編集を行った。ヘルスケア産業（6 月号）や海洋エネルギー（10 月号）、スマート農業（2 月号）、スマートモビリティサービス（3 月号）といった新しい産業のほか、インバウンド（7 月号）や農産物輸出（8 月号）、Society5.0（9 月号）、ポスト支店経済（4 月号）など、社会的関心の高いテーマの特集化に力を入れた。また、半導体産業の新たな動きなど、九州の基幹産業に関する特集も実施した。

発行日	内 容
5 月号 4 月 27 日（金） 発行	特 集 九州の地域研究 (Report) 2017 年度九経調地域研究助成・顕彰事業概要と審査結果、研究発表会 災害派遣時の保育支援 八女市予約型乗合タクシーの評価 戦略的に創るコンパクトシティ
6 月号 5 月 31 日（木） 発行	特 集 ヘルスケア産業 (Report) 九州における次世代ヘルスケアビジネス 次世代ヘルスケアサービスにおける情報流通基盤の構築

	機械への生成：人類にとって AI・ロボットとはなんでありうるか
7月号 6月28日(木) 発行	<p>特集 インバウンド 1,000 万人時代に向けた九州の戦略</p> <p>(Report) インバウンド 1,000 万人時代に向けた九州の戦略 超広域連携による九州の新たなインバウンド戦略 スポーツと地域活性化 五つ星ホテルが開く九州のプレミアム経済 大分県における訪日外国人旅行者の現状 クルーズ船客の受入れ体制 ナイトタイムエコノミーの創出</p> <p>(One point) ビッグデータでみる高級宿泊施設の分布</p> <p>(連載) 価値創造の源流 (43) ニシム電子工業㈱</p>
8月号 7月30日(月) 発行	<p>特集 一次産業の成長産業化に向けたブランド戦略</p> <p>(Report) 一次産業の成長産業化に向けたブランド戦略 イチゴ新品種「恋みのり」の挑戦 香港向け輸出に見る九州の農産物輸出ビジネスの展望 宮崎県内「畜産クラスター」からの発信 日本の農業の 30 年後を問う</p> <p>(One point) 九州の農水産物・飲食料品の品目別輸出状況</p> <p>(連載) 価値創造の源流 (44) アイスマン㈱ アグリプレナーの実践 (19) 新しい食肉用動物「ダチョウ肉」の普及に取り組む KO コープ 九州の文化・芸術 (4) 喜如嘉の芭蕉布</p>
9月号 8月30日(木) 発行	<p>特集 九州の Society5.0 企業</p> <p>(Report) 九州の Society5.0 企業 九州における地域未来牽引企業の特徴 地方中小都市における知識産業集積の可能性 イノベーション創出に向けた福岡市のスタートアップ支援策 ドローンビジネスの潮流と九州での実戦ポテンシャル 民間農業ビジネススクール AGSA の挑戦</p> <p>(連載) 価値創造の源流 (45) ㈱ロジカルプロダクト</p>
10月号 10月2日(火) 発行	<p>特集 九州の多様性を生かした海洋エネルギー開発</p> <p>(Report) 九州の多様性を生かした海洋エネルギー開発 九州における海洋エネルギー開発の動向 北九州市響灘地区洋上風力産業拠点の形成による地域振興・雇用創出 2018 年度九州経済の見通し (改訂)</p> <p>(連載) 九州の文化・芸術 (5) 久米島紬 価値創造の源流 (46) (一社) ジャパン・コスメティックセンター</p>
11月号 10月31日(水) 発行	<p>特集 シリコンアイランド九州の新しい地平</p> <p>(Report) シリコンアイランド九州の新しい地平 半導体産業と九州のポテンシャル ビッグデータ時代におけるシリコンアイランド九州の可能性 IoT 社会を支える福岡の半導体関連産業 IoT/AI 時代を睨んだ九州におけるミニマルファブの展開 半導体関連企業の新事業展開</p> <p>(連載) 価値創造の源流 (47) フェニテックセミコンダクター㈱鹿児島工場</p>
12月号 11月29日(木) 発行	<p>特集 九州における「新しい福祉」の萌芽</p> <p>(Report) 九州における「新しい福祉」の萌芽 企業と福祉の接点に生じる共通価値～就労支援からみる新たな取り組みの視点～ 仕事と介護の両立の隠れた問題～介護によるプレゼンティーズム～</p>

	<p>(One point) 雇用面からみた九州地域の医療・福祉業</p> <p>(連載) 地域 SDGs とスポーツ (1) スポーツの力が解決する地域課題 地域 SDGs とスポーツ (2) 全日本トライアスロン宮古島大会 九州の文化・芸術 (6) 福博喫茶文化小史</p>
<p>1 月号 12 月 26 日 (水) 発行</p>	<p>特 集 九州の新たな 1 年</p> <p>(Report) 九州の新たな 1 年 プラス成長維持も、正念場の一年 経済・産業で振り返る平成 地域創生のプレミアム (付加価値) 戦略～稼ぐ力で上質なマーケットを つくり出す～</p> <p>(連載) 地域 SDGs とスポーツ (3) ギラヴァンツ・オープンマインドプログラム</p>
<p>2 月号 1 月 31 日 (木) 発行</p>	<p>特 集 九州におけるスマート農業の未来</p> <p>(Report) 九州におけるスマート農業の未来 スマート農業の実現に向けた取り組みの現状と今後の展望 九州農政局におけるスマート農業推進に関する取り組み 九州におけるスマート農業の可能性</p> <p>(One point) 東京では「食べ物」、大阪では「温泉」が九州観光のキラーコンテンツ</p> <p>(連載) アグリプレナーの実践 (20) 南九州のサツマイモを世界に展開するくしま アオイファーム</p>
<p>3 月号 3 月 4 日 (月) 発行</p>	<p>特 集 スマートモビリティサービス</p> <p>(Report) スマートモビリティサービス モビリティ 2.0 時代の到来 ～「スマホ化する自動車」が地域、そして日本経済の活性化を促す～ 移動革命と MaaS 西日本鉄道とトヨタによるマルチモーダルモビリティサービス「my route」実証 実験 鹿児島島の未来の交通インフラを考える</p> <p>(One point) 九州地域における交通シェアリングビジネスの現状</p>
<p>4 月号 4 月 4 日 (木) 発行</p>	<p>特 集 ポスト支店経済</p> <p>(Report) ポスト支店経済 九州における年齢階級別人口移動 ポスト支店経済期における福岡の都市成長と九州</p> <p>(One point) 10 万人を超えた九州の外国人労働者数</p>

2) データ九州 (九州経済調査月報付録)

データ九州は、月報付録として年 4 回発行している。9 月号では、Society5.0 の実現に求められる技術分野で活躍する企業を集めた「九州・山口の Society5.0 企業 (2018)」を 10 月号、3 月号では設備投資動向をまとめた「九州・山口の設備投資 (2018 上半期 (1～6 月)、下半期 (7～12 月))」を発行した。4 月号では、「九州・山口の海外進出 2018」を発行した。

9 月号	データ九州 (No1164)	「九州・山口の Society5.0 企業 (2018)」
10 月号	データ九州 (No1165)	「九州・山口の設備投資 (2018 上半期 1～6 月)」
3 月号	データ九州 (No1166)	「九州・山口の設備投資 (2018 下半期 7～12 月)」
4 月号	データ九州 (No1167)	「九州・山口の海外進出 2018」

3) 2019年版 図説九州経済

九州・沖縄・山口の経済を、図表やデータで分かりやすく解説したもので、毎年1回刊行している。2019年版は、海外からのお客様のニーズを意識し、図表タイトル等や凡例での英語表記を充実させた。

『2019年版 図説九州経済』

平成30年10月17日刊行

4) メールマガジン（九経調ニュースレター）

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月2回配信した他、当会主催・共催のセミナー等の案内、当会の刊行物の案内を配信した。

メールマガジン配信件数122件（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

③幹事会からの提案による自主研究

「Society5.0を主導する九州の企業と事業」をテーマに、上期は、調査全体の設計（九州のSociety5.0関連企業の事例集の作成など）と、「九州・山口のSociety5.0企業」リスト作成を進めた。その結果、九州・山口の関連企業約300社を抽出し、リストは月報9月号付録「データ九州」で発表した。下期は、本格的な調査に移行し、事例集作成のための企業ヒアリングや事例分析などを進めた。報告書は6月末の完成を予定している。

◆『Society5.0を主導する九州の企業と事業』報告書構成（案）

第1章：はじめに～Society5.0と九州での対応分野～

第2章：“まち”の変化に貢献するSociety5.0

第3章：“ひと”の変化に貢献するSociety5.0

第4章：“しごと”の変化に貢献するSociety5.0

第5章：九州におけるSociety5.0企業・事業の特徴

おわりに

④地域経済情報のデジタル配信

創立70周年記念事業で構築する情報プラットフォーム等を活用し、月報、データ九州、図説九州経済を始めとする地域経済情報のデジタル配信に向けて準備を進めた。

⑤その他の事業

地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部等との意見交換会などを行った。

1) 九州・山口地方銀行調査担当部長会議

昭和42年度より毎年2回、九州・沖縄・山口の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。九経調の参加・講演が恒例となっている。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
6月5日 (火)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議（佐世保）	「30年後に向けた九州・山口の発展戦略」	片山部長（講演）	15人
2月28日 (木)	九州・山口地方銀行調査担当部長会議（熊本）	「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長（講演）	13人

加盟機関

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(株)おきぎん経済研究所
(株)佐賀銀行総合企画部	(一財)みやぎん経済研究所	(一財) 山口経済研究所
(株)長崎経済研究所	(株)九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会

2) 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟しており、3回の会合に参加した。6月の会合では、当会は「ITSが拓く地域経済活性化」を発表した。

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
6月6日 (水)	九州・沖縄ブロック総会・研究事例発表会・交流会（福岡）	事例発表「ITSが拓く地域経済活性化」	岡野部長（報告者）、渡辺研究員	17人
11月29日 (木)	九州・沖縄ブロック意見交換会	講演「伊都キャンパス移転とその効果」 視察「九州大学伊都キャンパス視察」	講師：安浦寛人氏 （九州大学副学長） 九経調参加者 田中副部長、小柳主査、渡辺研究員	14人
3月14日 (木)	九州・沖縄ブロック若手研究員交流会	講演「都市・地域のグローバル競争戦略」 論文発表： ①「沖縄県内の交通渋滞の現状及びその解消に向けた政策案」 ②「スポーツコミュニティによる防災力向上に関する一考察」	講師：久保隆行氏 （立命館アジア太平洋大学准教授） （一財）南西地域産業活性化センター （公財）福岡アジア都市研究所 九経調参加者 原口研究員、竹下研究員、南研究員	17人

九州・沖縄ブロック加盟機関

(公財)福岡アジア都市研究所	(株)よかネット	(株)ちくぎん地域経済研究所
(一財) 南西地域産業活性化センター	(公財)九州経済調査協会	

3) 国内主要会議、国際会議、意見交換会等

日程	会議名	テーマ	講師・参加者	参加者数
4月7日 (土)	(一社) 高齢社会共創センター 東京大学高齢社会総合研究機構	第1回リビングラボ・ネットワーク会議（日本・スウェーデン合同会議）	原口研究員	100人
5月9日 (水)	アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018 福岡	ITSが拓く地域経済活性化	中川主任研究員 （報告）	70人

5月30日 (水)	福岡・釜山の交流拡大に向けたシンポジウム～日韓シンクタンク合同成果報告会（福岡市）	ビッグデータを活用した宿泊施設日次稼働率予測システム 道路情報システム（ITS）が拓く地域経済活性化	高木理事長、片山部長（報告）、中川主任研究員（報告）	45人
8月31日 (金)～9月1日 (土)	第13回福岡・釜山フォーラム、釜山会議2018（釜山市）	福岡・釜山を起点とした日韓パートナーリング	高木理事長（第1セッション報告）、加峯部長	70人
9月26日 (水)	国際社会学会議（ISSC）、九州大学、日本学会議、科学技術研究機構（JST）	第4回 World Social Science Forum『持続可能な未来のための生存・安全の確保』	原口研究員	500人
10月17日 (水)～19日 (金)	日韓海峡圏研究機関協議会	日韓海峡圏研究機関協議会総会会議・研究報告会「人口問題と地域活性化」	原口研究員、竹下研究員	50人
11月20日 (火)	九州経済国際化推進機構	第17回環黄海経済・技術交流会議「太陽光発電 O&M ビジネスの展望と韓国・中国でのビジネス展開可能性」	藤井次長	312人

4) 東京大学地域未来社会連携研究機構との連携事業

地域経済社会の発展に寄与することを目的に、平成30年4月1日、東京大学地域未来社会連携研究機構と連携協定を締結した。3つの連携内容は、1.シンポジウムやワークショップ、共同研究等を通じた地域研究の推進、2.地域の課題に応えるプロフェッショナル人材の育成・交流、3.「地域未来投資促進法」等の国や自治体の各種事業との連携とし、当面、2.の連携内容に即して、当会自主研究や周年事業での技術的サポートおよび情報交換等進める予定である。

(2) 受託研究事業

平成30年度の受託研究は、計62本のプロジェクトに取り組んだ。

平成30年度は、地方自治体において総合計画や新しい法律の施行に沿った行政計画策定の業務が多く、5市の総合計画、および基本計画策定支援業務を受注した。また、前年度から続いて観光分野の受託調査も多く、平成30年度はアジアのみならず、欧米豪やFIT（海外個人旅行）に向けた九州観光のプロモーションを図るための基礎的調査を複数手がけ、九州の観光戦略に繋げる役割を果たした。

その他の産業分野については、ロボット産業やビッグデータ/IoT関連のメインプレイヤーとSIer（システムインテグレーター）の技術・業界動向調査を手がけ、それら産業振興に資する産学連携施設、およびオープンイノベーション拠点のあり方など、九州における次世代産業の振興に繋がる受託調査も行った。

【分野別受託研究一覧】

(統計作成・分析)		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	㈱クープス（福岡市）
3	景気ウォッチャー調査（九州地域）	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) (内閣府)
4	図説九州経済2019のGISデータ整理業務	九州電力(株)
5	中小企業の動向分析業務	福岡県
(地方創生)		

6	にしきまるごと創造プロジェクト運営支援業務	錦町
7	「第2次佐賀市総合計画」及び「佐賀市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の見直しに向けた基礎調査分析業務	佐賀市
8	人口減少問題講演会開催業務	佐賀市
9	「下関地域商社／海外販路開拓支援事業」に係る展開可能性事業者調査業務	下関市
(地域振興)		
10	行橋市における経済波及効果に関する分析業務	㈱日本経済研究所
11	九州経済を考える懇談会	(一財)九州地域産業活性化センター
12	地域政策デザイナー養成講座支援事業	地域政策デザイナー養成講座実行委員会
13	みやま柳川 IC 北地区工業団地整備による経済波及効果推計業務委託	みやま市
14	九州大学学術研究都市推進機構中期事業計画策定支援業務委託	(公財)九州大学学術研究都市推進機構
15	第19回 FINA 世界水泳選手権 2021 福岡大会に係る経済波及効果調査委託	第19回 FINA 世界水泳選手権 2021 福岡大会組織委員会
16	うるま市産業基盤整備計画基本構想策定事業	うるま市
(産業振興)		
①産業全般		
17	九州オープンイノベーションセンター構想研究会で利用する報告書作成に関する業務委託	(一財)九州地域産業活性化センター
18	北九州学術研究都市産学連携施設の機能と今後のあり方に関する基礎調査	北九州市
②電子部品・デバイス関連		
19	アジア半導体機構企画・運營業務	アジア半導体機構
20	GaN系半導体のアプリケーション調査	国立大学法人名古屋大学
③環境・資源エネルギー		
21	平成30年度地域中核企業創出・支援事業(太陽光発電の3R事業化促進事業)	九州経済産業局
22	自然エネルギーの普及と促進に係る事業(九州グリーン電力基金事業)における太陽光発電所の中古査定・評価等に関する調査	九州環境エネルギー産業振興機構(K-RIP)
23	地域の特性や資源を活かした分散型エネルギーシステム導入等事例集作成業務	福岡県
24	福岡県再生可能エネルギー導入支援システムに係るデータ更新業務	福岡県
④観光		
25	福岡県観光動態調査業務	福岡県
26	九州国立博物館来館者・居住者調査業務	福岡県立アジア文化交流センター
27	福岡市における新観光・MICEの課題抽出及び対応策検討業務委託	福岡市
28	欧米豪をターゲットとした九州観光関心度等の基礎調査	九州運輸局
29	九州における訪日外国人旅行者消費動向等調査事業	九州運輸局
30	九州観光に関する旅行者インサイト調査業務	(一社)九州観光推進機構
31	九州・中四国地域における観光振興事例調査	㈱北海道二十一世紀総合研究所
32	九州アジア観光アイランド特区ガイド活用事業(特区ガイド実態調査)	(一社)九州観光推進機構
⑤医療・福祉		
33	高齢社会課題解決に向けた共創拠点の構築	(国研)科学技術振興機構
34	平成30年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
35	生活支援体制整備事業連携支援・調査業務委託	福岡市
36	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン推進支援業務	大牟田市
37	IoTを用いた運動行動変容のためのプログラム開発：フレイルの観点から	(国研)日本医療研究開発機構

38	日本のリビング・ラボ推進現況と主要活動に関する報告書	科学技術政策研究院
39	福岡県ジェネリック医薬品アンケート及びヒアリング調査業務	福岡県
⑥新産業・新技術		
40	アジア半導体機構企画・運営業務	アジア半導体機構
41	平成 30 年度「地域中核企業創出・支援事業:産学連携・ベンチャー活用等による成長分野(医療・ヘルスケア、農林水産・食品等)展開」における大学シーズマップ作成に係る請負業務	(一財)九州地域産業活性化センター
42	平成 30 年度地域ものづくり企業の生産性革命に向けた「北九州地域を核としたシステムインテグレータ・ネットワーク構築事業」に係るシステムインテグレータ実態調査業務委託	(公財)北九州産業学術推進機構
43	介護ロボットの安全性検証施設に関する調査業務	(公財)北九州産業学術推進機構
(社会資本)		
44	福岡県自転車利用環境に関するアンケート調査	福岡県
45	平成 30 年度九州地域の港湾整備に関連する企業の投資動向調査	九州地方整備局
46	水前寺江津湖公園費用対効果分析業務委託	熊本市
47	平成 30 年度ウォーターフロント地区再整備に伴う効果等に関する更新業務	福岡市
48	宮崎市及び福岡市を起点とする時間地図印刷データ作成業務	宮崎県
(雇用・人材育成等)		
49	平成 30 年度生涯現役促進地域連携事業 食料品製造業事業所ヒアリング支援及び企業ニーズの把握・分析業務	(公社)福岡県雇用対策協会
50	卒業生アンケートに係る集計分析業務	下関市立大学
51	「少子高齢化・雇用委員会」運営支援業務	(一社)九州経済連合会
52	公的職業訓練に関するサービスガイドライン設計業務	職業訓練法人福岡地区職業訓練協会
(行財政)		
53	第 2 次下関市総合計画後期基本計画策定・編纂支援業務	下関市
54	久留米市新総合計画次期基本計画策定支援業務	久留米市
55	第 6 次田川市総合計画基本構想策定業務委託	田川市
56	第 2 次唐津市総合計画後期基本計画素案作成業務	唐津市
57	第 6 次荒尾市総合計画(仮称)策定支援業務	荒尾市
58	平成 30 年度県政世論調査業務	山口県
59	子育て等に関する県民意識調査	福岡県
(その他)		
60	2020 を契機としたスポーツ×地域産業等による地域・経済活性化モデル構築支援事業に関する役務請負	九州経済産業局
61	平成 30 年度政策金融評価の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
62	平成 30 年度 2020 年以降における九州の持続可能な成長に向けた調査事業	九州経済産業局

(3) 九経調地域研究助成・顕彰事業

九経調地域研究助成・顕彰事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、平成 26 年度から溝江建設㈱の支援を受けて実施している。

助成事業については、平成 30 年 4 月 13 日～5 月 31 日の応募期間に 27 本の申請があり、九経調地域研究助成・顕彰委員会で 6 本の助成先候補を選定し、理事会にて正式に助成先を決定した。顕彰事業については、九経調地域研究助成・顕彰委員会で審査し、最優秀賞(みぞえ賞)、優秀賞(溝江建設

賞)、奨励賞を選定、理事会にて正式決定した。さらに、平成31年3月11日の研究発表会において、表彰とみぞえ賞受賞者による発表を行った。

■助成先の審査結果（20万円助成／本）

	テーマ	申請者・研究代表者
1	自治体運行の地域公共交通に関するオープンデータ化とその効果に関する研究	稲永健太郎 (九州産業大学理工学部)
2	人口減少・超高齢社会における都市機能の連携・分担に関する研究～「ひとつの九州」と「ひとつひとつの九州」の両立に向けて～	吉次翼 (慶應義塾大学 SFC 研究所)
3	これからの地方の図書館の可能性	宇野鮎子 (宮崎県立日向高等学校)
4	過疎地域における賃貸住宅の移住促進と地域社会への影響についての研究－八女市上陽町久木原地区の新築賃貸集合住宅の事例を中心として－	長谷川繁 (八女里山賃貸(株)/株DMX)
5	中山間被災地域における生業継続のための交流空間デザイン	福田健 (九州大学大学院芸術工学府)
6	くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と食文化の担い手育成	富吉満之 (久留米大学経済学部)

■顕彰先の審査結果

顕彰内容	テーマ	申請代表者	備考
【最優秀賞】 (みぞえ賞) 副賞:30万円	過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究－八女市上陽町久木原地区の賃貸集合住宅の事例を中心として－	八女里山賃貸(株) 長谷川繁 (共同執筆:沖雅之・宮寄慧)	20万円 研究助成
【優秀賞】 (溝江建設賞) 副賞:10万円	該当なし		
【奨励賞】 副賞:記念品	新しい時代を迎える高等学校図書館の可能性	宮崎県立日向高等学校 学校司書エリアコーディネーター 宇野鮎子	20万円 研究助成
	くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と食文化の担い手育成	久留米大学経済学部 准教授 富吉満之	20万円 研究助成

■九経調地域研究助成・顕彰委員会 委員

	氏名(敬称略)	所属	役職	備考
1	川崎隆生	(株)西日本新聞社	会長	民間
2	安浦寛人	九州大学	副学長	大学
3	山岐真作	(株)日本政策投資銀行 九州支店	九州支店長	民間
4	松田美幸	福津市	副市長	公共
5	高木直人	(公財)九州経済調査協会	理事長	主催者

■九経調地域研究助成・顕彰事業スケジュール

期間	内容
4月13日(金)～5月31日(木)	平成30年度 研究テーマの募集
6月18日(月)	平成30年度 第1回 九経調地域研究助成・顕彰委員会開催 助成先を選定(書面理事会で決定)(平成31年1月31日 論文提出締切り)
7月6日(金)～1月31日(木)	論文の一般募集
2月22日(金)	平成30年度 第2回 九経調地域研究助成・顕彰委員会開催

	最優秀賞（みぞえ賞）、奨励賞を選定（3月4日 理事会で決定）
3月11日（月）	研究発表会を開催。顕彰論文を表彰、みぞえ賞受賞者による発表 （於：電気ビル共創館 カンファレンス A）来場者 100人

3. 講演会・セミナーの開催

九経調では、研究成果を広く伝えるために、定例の講演会やセミナーを各地で開催している。また、BIZCOLI では、多様なテーマで定期的にセミナーを開催している。平成30年度の九経調主催による講演会・セミナーは、合計74回であった。

（1）九州・沖縄・山口でのセミナー等

九州経済白書説明会（計12回）

九州経済白書「スポーツの成長産業化と九州経済」の刊行後、九州・沖縄・山口の12都市で開催した。

地区	日時	会場	共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	2月8日 （金）	FFGホール（福岡銀行本店地下）	㈱ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 ㈱FFG ビジネスコンサルティング	大谷次長	178人
北九州	2月20日 （水）	FFG北九州本社ビル	㈱ふくおかフィナンシャルグループ （一社）西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 ㈱FFG ビジネスコンサルティング	片山部長	60人
久留米	3月7日 （木）	筑邦銀行本店	㈱筑邦銀行 久留米商工会議所 ㈱ちくぎん地域経済研究所	片山部長	64人
佐賀	2月15日 （金）	佐賀銀行本店	㈱佐賀銀行	片山部長	30人
長崎	2月21日 （木）	十八銀行本店	㈱十八銀行 ㈱長崎経済研究所	大谷次長	39人
佐世保	3月6日 （水）	FFG佐世保ビル	㈱ふくおかフィナンシャルグループ ㈱親和銀行 佐世保商工会議所 ㈱FFG ビジネスコンサルティング	大谷次長	14人
熊本	3月5日 （火）	肥後銀行熊本駅前支店	㈱肥後銀行 （公財）地方経済総合研究所 熊本経済同友会	片山部長	45人
大分	3月8日 （金）	大分銀行 宗麟館	㈱大分銀行 ㈱大銀経済経営研究所	大谷次長	63人
宮崎	2月22日 （金）	ニューウェルシティ宮崎	㈱宮崎銀行 （一財）みやざん経済研究所	大谷次長	59人
鹿児島	2月26日 （火）	鹿児島中央ビルディング	㈱鹿児島銀行 ㈱九州経済研究所	片山部長	62人
沖縄	2月19日 （火）	沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ	㈱沖縄銀行 ㈱おきぎん経済研究所	大谷次長	33人
山口	2月26日 （火）	シーモールパレス	㈱山口銀行 （一財）山口経済研究所	大谷次長	46人

(2) 定例の講演会・セミナー

①九経調交流会（1回）

平成30年度は「公益資本主義 2050年の国家目標 天寿を全うする直前まで健康でいられる社会の実現」をテーマに、アライアンス・フォーラム財団代表理事の原丈人氏を講師にお招きして講演会を開催したのち、懇親会で会員同士の交流を深めた。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
2月7日 (木)	公益資本主義 2050年の国家目標 天寿を全うする直前まで健康でいられる社会の実現	アライアンス・フォーラム財団代表理事、 デフタパートナーズグループ会長、内閣 府本府参与 原丈人氏	219人

②研究報告会（1回）

平成30年度は、前年度の幹事会提案の自主研究に基づいて「ITS（高度道路交通システム）が拓く地域経済活性化」をテーマに研究報告会を開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
7月18日 (水)	ITSが拓く地域経済活性化	中川主任研究員	75人

③アジア経済講演会（1回）

昭和37年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。平成30年度は、中国華南・珠江デルタ地域をテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10月30日 (火)	発展する中国華南・珠江デルタ～ビッグベイ エリア構想と日系企業の勝算	ジェトロ・アジア経済研究所 開発研究 センター 企業・産業研究グループ研究員 丁可氏 ㈱安川電機 執行役員 中国統括 安川電 機(中国)有限公司 董事長 生山武史氏	57人

備考) ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、九経調の三者共催

④調査技法セミナー（2日間開催。1回）

九州・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。平成30年度は、GIS（地理情報システム）、BI（ビジネス・インテリジェンス）ツールを活用した、地図データやビッグデータの可視化・分析に関する実践的なプログラムを組み、合計25名で実施した。

日 程	内 容	講 師	参加者数
7月25日 (水)	QGIS 入門演習	小柳研究主査	23人
7月26日 (木)	Tableau 入門	㈱カホエンタープライズ 最高技術責任者 宮田和三 郎氏、マネージャー 山縣一輝氏	19人

注) 自主研究・事業基金を活用した事業

参加機関

㈱FFG ビジネスコンサルティング	㈱長崎経済研究所	㈱九州経済研究所
㈱NCB リサーチ&コンサルティング	(一財)山口経済研究所	㈱北九州経済研究所
㈱大銀経済経営研究所	(一財)みやぎん経済研究所	㈱ちくぎん地域経済研究所
(公財)九州経済調査協会		

⑤経済講演会（1回）

三井住友アセットマネジメント(株)理事・チーフエコノミストの宅森昭吉氏を招いて、「街角から日本の景気を展望する」をテーマに、(株)ふくおかフィナンシャルグループとの共催にて開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
10月16日 (火)	街角から日本の景気を展望する	三井住友アセットマネジメント(株) 理事・チーフエコノミスト 宅森昭吉氏	106人

⑥地域研究顕彰事業研究発表会（1回）

前出の九経調地域研究顕彰事業において選ばれた優秀な論文を顕彰し、顕彰された論文についてプレゼンテーションを行う研究発表会を開催した。

日程会場	発表者	参加者数
3月11日 (月) 電気ビル 共創館	<p>【論文提出者】</p> <p>①「自治体運行の地域公共交通に関するオープンデータ化とその効果に関する研究」 稲永 健太郎（九州産業大学理工学部）</p> <p>②「人口減少・超高齢社会における都市機能の連携・分担に関する研究～「ひとつの九州」と「ひとつひとつの九州」の両立に向けて～」 吉次 翼（慶應義塾大学 SFC 研究所）</p> <p>③「新しい時代を迎える高等学校図書館の可能性」 宇野 鮎子（宮崎県立日向高等学校）</p> <p>④「過疎地域における賃貸住宅が移住促進と地域社会に与える影響に関する研究－八女市上陽町久木原地区の賃貸集合住宅の事例を中心として－」 長谷川 繁（八女里山賃貸(株)/(株)DMX）</p> <p>⑤「中山間被災地域における生業継続のための交流空間デザイン－熊本地震後の南阿蘇村を対象として－」 福田 健（九州大学大学院芸術工学府）</p> <p>⑥「くるめ野菜の普及を通じた地域農業の振興と食文化の担い手育成」 富吉 満之（久留米大学経済学部）</p> <p>【前年度最優秀賞受賞者】</p> <p>①「災害派遣時における保育支援」 蓮池勢津子（航空自衛隊築城基地）</p>	100人

(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催しており、平成 30 年度は合計 56 回であった。セミナー終了後には、交流ラウンジで名刺交換会を開催し、参加者相互の人脈形成の場を提供している。

①イブニングセミナー（計 11 回）

当会研究員や当会月報への寄稿者によるセミナーを不定期に開催している。年間を通じて、インバウンドや農業成長産業化、Society5.0、海洋エネルギー、シリコンアイランド、スマート農業、スマートモビリティサービスなどといった九州の成長戦略に係るセミナーを開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
6月1日(金)	ニュータウン地域における高齢化の現状	竹下研究員	40人
7月17日(火)	インバウンド1,000万人時代に向けた九州戦略	松嶋主任研究員、島田研究主査	41人
8月21日(火)	一次産業の成長産業化に向けたブランド化戦略	松嶋主任研究員、野見山調査役	23人
9月11日(火)	九州の Society 5.0 企業	松嶋主任研究員、渡辺研究員	28人
9月28日(金)	中国の資源ごみ輸入規制の動向と九州への影響 ～世界を漂う廃棄物の行方～	八木研究員	22人
10月9日(火)	九州の多様性を生かした海洋エネルギー開発	松嶋主任研究員、小柳研究主査	13人
11月13日(火)	シリコンアイランド九州の新しい地平	岡野部長、松嶋主任研究員	32人
12月11日(火)	「新しい福祉」の萌芽	西部ガス絆結(株) 代表取締役社長 船越哲郎氏 (株)ふくしごと コミュニケーション ディレクター 山内泰氏 ラボラトリオ(株) 統括マネージャー 南伸太郎氏 松嶋主任研究員	26人
1月8日(火)	九州の新たな1年	松嶋主任研究員、小柳研究主査	26人
2月13日(水)	九州におけるスマート農業の未来 東京・大阪 在住者の九州観光に関するイメージアンケート	松嶋主任研究員	9人
3月12日(火)	スマートモビリティサービス	松嶋主任研究員	27人

②地域経営セミナー（計16回）

地域活性化や企業競争力強化をテーマに開催しており、上期は「地域創生のプレミアム戦略」や「九州バカ 世界とつながる地元創生起業論」といった書籍の著者を招聘し開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5月16日 (水)	生産性を高める職場の基礎代謝	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 代表理事 白井旬氏	18人
7月10日 (火)	地域創生のプレミアム戦略 ～稼ぐ力で上質なマーケットをつくり出す～	中央大学大学院経済学研究科 教授 山崎朗氏	32人
8月10日 (金)	世界とつながる地元創生起業論	有限会社一平 代表取締役 村岡浩司氏	54人
8月23日 (木)	2030SDGs カードゲームによる組織活性化 &リーダー人材育成ワークショップ	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 代 表理事 白井旬氏	35人
8月30日 (木)	デジタルフォレンジックに触れる	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー 杉山一郎 氏、同部 マネージャー 柳裕二氏	11人
9月19日 (水)	サイバー攻撃の現状と求められる施策 第1回サイバー攻撃の現状	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー 杉山一 郎氏、同部 一瀬友祐氏	20人
10月10日 (水)	サイバー攻撃の現状と求められる施策 第2回サイバー攻撃への対策	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー 杉山一 郎氏、同部 マネージャー 一瀬友祐氏	17人
10月16日 (火)	レゴ(R)ブロックで描く組織と地域の未 来デザイン	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 理事 白井旬氏	15人
10月31日 (水)	サイバー攻撃の現状と求められる施策 第3回サイバー攻撃への対策	EY 新日本有限監査法人 Forensics 事業部 Technology チームジャパンリーダー 杉山一 郎氏、同部 マネージャー 一瀬友祐氏	9人
12月14日 (金)	PR も同時にできる！Makuake クラウド ファンディングセミナー	(株)マクアケ 取締役 坊垣佳奈氏	27人

1月17日 (木)	第1回 未来会計セミナー 『未来からの逆算』が会社を大きく変える！	㈱日本BIGネットワーク 代表取締役 IG 会計グループ 代表、日本 M&A 協会 会長 岩永経世氏	19人
1月17日 (木)	続編！「職場の基礎代謝」アップ 社員・顧客・会社を元気にする「不」の解消法	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 理事 白井旬氏	27人
2月1日 (金)	わかりやすい！中国越境 EC セミナー	㈱ナセバナル 代表取締役 橋谷亮治氏	18人
2月13日 (水)	第2回 未来会計セミナー 『経営者目線の“決算書”の見方、活かし方』	㈱IG プレーン 未来会計コンサル 山本要輔氏	12人
3月5日 (火)	2030SDGs カードゲームを活用した理想の組織・地域づくりワークショップ	特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 理事 白井旬氏	24人
3月26日 (火)	第3回未来会計セミナー 『自社の資金繰りは 銀行でも会計事務所でもない 経営者が一番解る』	㈱IG プレーン 未来会計コンサル 寺下祐介氏	19人

③共催セミナー（計7回）

会員との共催によるセミナーに取り組んでおり、平成30年度は九州朝日放送㈱、㈱電通九州、福津市、九州産業大学産業経営研究所、専門図書館協議会、若林ビジネスサポートと実施した。

日程	テーマ	講師	共催機関	参加者数
5月23日 (水)	ナイトタイムエコノミーの創出～デジタルクリエイティブによるソリューション～	チームラボ 中村洋太氏 ㈱ホリーアイランドセールス 代表取締役 小川和也氏	㈱電通九州、若林ビジネスサポート	69人
5月31日 (木)	インバウンドの新たなステージをむかえて 第一部：「山奥の小さな旅館が外国人で満室になる理由」 第二部：「タイ人を九州に誘致する方法」	湯平温泉「山城屋」代表 二宮謙児氏、俳優 佐野ひろ氏	九州朝日放送 (㈱)	95人
9月4日 (火)	温泉旅館の生き残りをかけた長期滞在戦略～別府市鉄輪温泉の取り組み～	九州産業大学地域共創学部 観光学科 教授 浦達雄氏	九州産業大学	35人
10月9日 (火)	地方創生に必要なモノ・コト・シテン	㈱電通 日本開発室インバウンドソリューション開発部長 高橋邦之氏	㈱電通九州、若林ビジネスサポート	107人
11月21日 (水)	福津市の住み良さとは 「住み良さランキング2018 総合評価」九州・沖縄ブロック1位	福津市長 原崎智仁氏	福津市	48人
2月15日 (金)	アニメ聖地巡礼 これからの観光地づくり～九州の知られざるポテンシャルに迫る～	関東学院大学経営学部 教授 岩崎達也氏 中京大学経営学部 准教授 津村 将章氏 九州産業大学 地域共創学部 准教授 大方優子氏	九州産業大学	39人
3月22日 (金)	九州大学中央図書館視察会 「九州大学中央図書館のコンセプト～開館までの軌跡とともに」	九州大学附属図書館 図書館企画課 企画係長 山根泰志氏	専門図書館協議会	14人

④九州国立博物館応援セミナー（計3回）

九州国立博物館の企画展にあわせて、3回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5月29日 (火)	至上の印象派展～ビュールレ・コレクション	九州国立博物館 特任研究員 碁信祐爾氏	35人
10月23日 (火)	オークラコレクション～古今の美を収集した大倉父子の夢	九州国立博物館 主任研究員 山下善也氏	25人
2月18日 (月)	京都・醍醐寺～真言密教の宇宙	九州国立博物館 主任研究員 森實久美子氏	21人

⑤サイエンスカフェ（計11回）

サイエンスカフェは、九州大学が企画し当会が主催して行う科学者による市民向け勉強会である。大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供しており、2015年にノーベル物理学賞を受賞した梶田先生の特別講演も含め、計11回開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月6日 (金)	「動き」と「計算」の関係に迫る！	九州大学大学院システム情報科学研究院 情報学部門准教授 山内由紀子氏	36人
4月15日 (日)	特別版「宇宙の謎に迫る！」	東京大学卓越教授・特別荣誉教授、東京大学宇宙線研究所長 梶田隆章氏	221人
5月25日 (金)	磁性ゴムの謎に迫る！	九州大学大学院工学研究院 機械工学部門 准教授 津守不二夫氏	36人
6月22日 (金)	CGの謎に迫る！	九州大学大学院芸術工学研究院 助教 森本有紀氏	31人
8月3日 (金)	同期現象の謎に数学で迫る！	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 准教授 千葉逸人氏	36人
9月21日 (金)	水素細菌の謎に迫る！	九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 准教授 尹基石氏	39人
10月19日 (金)	ロボットの身体・知能に迫る！	九州大学大学院工学研究院機械工学部門 准教授 田原健二氏	40人
11月16日 (金)	日本酒の香りを科学する！	九州大学大学院理学研究院科学部門 准教授 村山美乃氏	43人
12月14日 (金)	次元の謎に迫る！	九州大学基幹教育院自然科学理論系部門 准教授 小島健太郎氏	51人
1月25日 (金)	身体の中にお医者さんを送り込む！	九州大学大学院工学研究院応用化学部門 准教授 岸村顕広氏	33人
3月2日 (土)	身体も心！	九州大学基幹教育院人文社会化学部門 准教授 山田祐樹氏	34人

⑥ビズコリクラブ（計2回）

ビズコリクラブは、教養を深める少人数セミナーである。平成30年は明治維新150年の節目の年であり、幕末維新をテーマに講師を招聘した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
10月19日 (金)	幕末と維新の薩摩 ー明治維新と薩摩藩、島津家ー	㈱島津興業 代表取締役社長 島津忠裕氏	11人
2月12日 (火)	幕末の長州と筑前が果たした役割	萩博物館特別学芸員／防府天満宮歴史館顧問／至誠館大学特任教授 一坂太郎氏	10人

⑦文化アートイベント（計3回）

文化セミナーは6月に「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2018」との連動企画で、アートと地域づくりに関するテーマで開催。12月には、「現代アートを買おう！サラリーマンコレクターの経済学」をテーマにART FAIR ASIA 実行委員会と共催で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
6月29日 (金)	ART FAIR ASIA FUKUOKA 2018 プレイベント「秘密企業×アート」	TERRADA ART ASSIST(株) 代表取締役 是川泰之氏	46人
11月12日 (月)	特別講演会「社会とデザイン」Design for Society	九州大学大学院芸術工学研究院 コンテン ツ・クリエイティブデザイン部門 教授 富松潔氏 Rocket Road(株) 代表取締役社長 泉幸典氏	18人
12月14日 (金)	現代アートを買おう！サラリーマンコレク ターの経済学	アート・コレクター、横浜美術大学教授 京都造形芸術大学客員教授 宮津大輔氏	71人

⑧まちづくりセミナー（計2回）

まちづくりに関するテーマで開催しており、平成30年度は「稼ぐ」と「離島」で開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
6月26日 (火)	かせぐまちづくり	フィールド・フロー(株)代表取締役 渋谷健氏	39人
9月13日 (木)	日本の離島は最先端！	NPO 法人離島経済新聞社 統括編集長 鯨本あつこ氏	35人

⑨ビッグデータセミナー（計1回）

会員企業におけるAIやビッグデータの活用を促進するため、情報提供のためのセミナーを開催した。先進的な活用事例や、データストアとしてのクラウド基盤、BIツールなどを用いた可視化・活用技術など実践的な内容を想定しており、平成30年度はBIツールをテーマに開催した。

日程	テーマ	講師	参加者数
3月6日 (水)	経営に活かすデータ分析セミナー 第1回「BIツールによる経営革新」	(株)カホエンタープライズ コンサルタント 福田三佳氏	17人

4. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLI は、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに、“知”を活用する人が集まる空間づくりに努めている。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して、人が集まり、知的刺激を受ける場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じて、アイデアの創出や発想の転換を促進している。

また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。

(1) 地域経済図書館としてのサービス

1) BIZCOLI の利用状況

平成 30 年度の利用者数は 18,461 人となった。平成 29 年度に開館以来はじめて対前年を下回ったものの、平成 30 年度はサービス向上や広報活動に力を入れたことから、再度増加に転じており、前年度を大きく上回った (10%増)。また、3 月 13 日には、累計の来館者数が 10 万人に到達した。

BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
平成 24 年度	8,044 人	平成 28 年度	16,984 人
平成 25 年度	12,238 人	平成 29 年度	16,743 人
平成 26 年度	13,479 人	平成 30 年度	18,461 人
平成 27 年度	15,486 人		

2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、企業の新製品や話題のグッズを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。平成 30 年度は、26 件の行政や企業、団体等と連携して、常設展示、企画展示を行った。

①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
DRATION	ドローンの提供
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	「九州の未来力」関係資料
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
(株)電通九州	電通九州のクリエイターによる“感じる”“考える”“伝える”をテーマとした書籍と書評を展示
(株)西日本新聞社	パネル「2027 首都・福岡」の展示
(株)野村総合研究所	パネル「未来年表 2017-2100」の展示
福岡商工会議所	パネル「二十年後ノ大福岡構想圏」の展示

(2) 講演会・セミナー会場の運営

BIZCOLI のミーティングルームの提供を行っている。平成 30 年度は、240 件の利用があり、収益額は対前年度比プラス 3%の 219 万円だった。

5. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会からの事務局受託

会員数 514名 (3月末現在)

平成30年度の主な活動 (福岡経済同友会／九州経済同友会)

福岡経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・通常総会 (1回)、常任幹事会 (3回)、幹事会 (4回) の開催 ・同友フォーラム ・交流委員会。例会10回開催 ・国際委員会。ドイツ、チェコへの海外視察 ・県立高等学校、市立中学校にて出前講座 16回開催 ・九州メンタープロジェクトメンティー発表会の開催 ・カップリングパーティーの開催 ・その他、各委員会において講演会、視察会等を開催 など
九州経済同友会	<ul style="list-style-type: none"> ・代表幹事会 (2回。企画委員会合同会議を含む) ・企画委員会 (4回。企画委員会合同会議を含む) ・九州経済同友会大会 (1回) ・会員合同懇談会 (1回) ・九州はひとつ委員会 (1回) ・提言「九州における人口減少・少子化対策のあり方」発表 ・九州地域戦略会議、同幹事会に参加 ・九州合同プロモーション in France ・全国経済同友会セミナー ・西日本経済同友会 代表者会議に参加 など

*その他講演会、会合など開催 上記を含む総会合数 154回(うち共催・後援 31回)

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州経済を考える懇談会は、九州の経済団体のトップが九州経済に関する重要課題について、認識を共有し、課題解決策について議論する会議体である。平成 22 年度に「地域経営を考える政策懇談会」として始まり、平成 25 年 1 月から現在の名称に変更した。(一社)九州経済連合会、(一財)九州地

域産業活性化センター、(公財)九州経済調査協会の三者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。平成30年度は4回開催した。

No	日時・場所	テーマ	参加者
第1回	8月22日 (水) 九経調 会議室	1) 第一次産業の魅力づくりについて 2) 「祭りアイランド九州」の取組について 3) フランスでの九州PR活動実施結果と今後の課題について 4) 女性活躍推進に関する取組について 5) 「九州・大学発ベンチャー振興実践会議」実施結果と今後の対応について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏(座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第2回	10月4日 (木) 九経連 会議室	1) 「事業承継対策」について 2) 「祭りアイランド九州」の取組について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏(座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第3回	1月30日 (水) 九経調 会議室	1) 「日本・九州経済停滞の原因と実態および日本における貧困下の実態と対策」について 2) 「労働力不足と人材育成」について 3) 「祭りアイランド九州」経済界内の負担金(案)について 4) 次年度懇談会の進め方について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏(座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)
第4回	3月8日 (金) 九経調 会議室	1) 「九州オープンイノベーションセンター構想」について 2) 九州におけるリカレント教育(学び直し)の現状について 3) 次年度懇談会の進め方について 4) 「九州・大学発ベンチャー振興実践会議」実施結果について	(一社)九州経済連合会 会長 麻生泰氏(座長) (一財)九州地域産業活性化センター 会長 麻生渡氏 九州商工会議所連合会 会長 藤永憲一氏 九州経済同友会 代表幹事 貫正義氏 九州経営者協会 会長 竹島和幸氏 (公財)九州経済調査協会 理事長 高木直人(コーディネーター)

(3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局

「地域政策デザイナー養成講座」(事務局長:谷口博文 九州大学 ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター長、学術研究・産学官連携本部教授)は、地域の具体的な課題を把握し、国内外の情勢や近未来をとらえた広い視野で、地域像をデザイン、政策立案できる人材を「官」「民」を問わず育て、九州地域の発展に貢献することを目的に、平成22年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州地域産業活性化センター、(株)西日本新聞社、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

平成30年度は72名(受講生37名、聴講生35名)が受講した。4月から11月までに15回の授業を実施し、11月17日には研究発表会を開催した。

平成 30 年度 地域政策デザイナー養成講座 講師一覧

氏 名	所 属
安浦 寛人	九州大学 理事・副学長
谷口 博文	九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授
岡野 秀之	(公財)九州経済調査協会 事業開発部長兼 BIZCOLI 館長
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長/九州大学 客員准教授
佐脇 紀代志	内閣府規制改革推進室 参事官
佐々木 紀彦	NewsPicks 編集長
竹本 吉輝	(株)トビムシ 代表取締役
松尾 元信	金融庁総務企画局 参事官
遠藤 幹子	(一社) マザー・アーキテクチャ 代表理事・建築家
村岡 浩司	(有) 一平 代表取締役
アハメッド・アシル	九州大学 システム情報科学研究院 准教授
脇山 真治	九州大学 芸術工学研究院教授
春日 博文	ポート(株) 代表取締役 CEO
長野 恭紘	別府市長

(4) 九州水フォーラム 2018 の事務局のサポート

九州水フォーラムは、「九州ならではの水のありかた」を、地域、全国、国際の多様な視野から捉えるものである。九州の水の文化や技術を発信し、日本や世界の水問題へ貢献することを目的としている。昨年度まで事務局は当会にあったが、平成 30 年度から九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室へ移っている。弊会は事務局の引継業務並びに運営のサポートを行い、5 回開催された幹事会に参加した。平成 30 年度の九州水フォーラムのテーマは「水の恵みの享受と災害からの復興」で、電気ビル共創館カンファレンスにおいて、11 月に開催された。

日 程	テーマ	内 容	参加者数
11 月 19 日 (月)	「水の恵みの享受と災害からの復興」	<p><基調講演> 「気候変動と水」 講師： 国立環境研究地球環境センター 気候変動リスク評価研究室主任研究員 花崎直太氏</p> <p><ポスターセッション> <パネルディスカッション> 「災害を乗り越えて生きて行く、地域社会と文化の力に支えられて」 パネリスト： 福岡管区气象台 気象防災部地球環境課・海洋課 地球温暖化情報官 風間千尋氏 福岡県男女共同参画審議会 委員 前杷木町長 中嶋玲子氏 国際連合人間移住計画 (ハビタット) 補佐官 星野幸代氏 九州大学 大学院教授 工学研究院附属アジア防災研究センター長 九州大学 災害復興支援団团长 三谷泰浩氏</p> <p>モデレーター： アジア太平洋水フォーラム友の会 綿末しのぶ氏</p>	72 人

6. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行っている。なお、外部主催の講演会への講師派遣、セミナー等への参加・企画協力については、巻末の資料編に掲載している。

対外活動実績（平成 30 年度）

区 分	内 容	件数等
（１）行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	【行政】九州経済産業局、九州地方整備局、九州農政局、福岡県、長崎県、北九州市、福岡市、久留米市、行橋市 【団体】（公財）経営者顕彰財団、（公財）福岡県リサイクル総合研究事業化センター、（公財）福岡アジア都市研究所、（公財）福岡県産業・科学技術振興財団、（公財）機械振興協会、（公財）日本生産性本部、（一社）九州経済連合会、（一社）九州観光推進機構、（一財）九州産業技術センター 【民間・大学】九州電力㈱、福岡大学、㈱福岡放送	就任件数計 22 件
（２）大学への非常勤講師の派遣	福岡大学、九州産業大学、中村学園大学、近畿大学、西南学院大学、流通科学大学 * 1 コマの派遣は含まず	計 6 大学 8 講座
（３）テレビ・ラジオ等への出演	RKB「今日感テレビ」、TNC「CUBE」、TNC「もちもち浜 S 特報ライブ」 NHK 福岡「ロクいち！福岡」、KBC「アサデス。」、KBC 九州朝日放送「シリタカ！」FBS 福岡放送「めんたい PLUS」、TVQ「ふくおかサテライト」、TVQ「ぐっ！ジョブ」、KTN テレビ長崎、MBC「NEWS NOW」、NHK 宮崎放送局、鹿児島読売テレビ「鹿児島 KYT ニュース」	延 29 回
（４）新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	西日本新聞、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、産経新聞、河北新報、東奥日報、沖縄タイムス、琉球新聞、建設通信新聞、中国新聞セレクト、鹿児島建設新聞、旬刊旅行新聞、日本経済新聞電子版ニュース、西日本新聞経済電子版「qBiz」、日刊工業新聞「News ウェーブ 21」、聯合ニュース、電子デバイス新聞、ビジネスレイバートレンド、@PRESS、週刊金融財政事情、財界九州、PRESIDENT Online、LINE ニュース等	延 184 件
（５）インターンシップの受入等	沖縄人財クラスタ研究会（琉球大学、沖縄国際大学）、福岡大学	計 3 大学

7. 運営基盤の拡充

（１）会員数の増加

①賛助会員

BIZCOLI や研究成果の活用、講演会、講師派遣、研究員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めている。平成 30 年度入会は 38 件であり、前年の 42 件を若干下回った。しかしながら、退会は 26 件でとどまり、期首 581 会員から 12 会員純増して 593 会員となった。会費実勢額は 1 億 2,791 万円である。

賛助会員の動向

	合 計				
	維持会員	普通会員	個人会員	町村会員	
平成 30 年度期首	581	73	491	15	2
入 会	38	1	34	3	0
退 会	26	0	26	0	0
増 減	12	1	8	3	0
会員種別変更	0	0	0	0	0
平成 30 年度末	593	74	499	18	2

- ・平成 27 年度末 会員数 576 会員 ・会費実勢額 1 億 2,648 万円
- ・平成 28 年度末 会員数 574 会員 ・会費実勢額 1 億 2,574 万円
- ・平成 29 年度末 会員数 581 会員 ・会費実勢額 1 億 2,625 万円
- ・平成 30 年度末 会員数 593 会員 ・会費実勢額 1 億 2,791 万円

②BIZCOLI 会員

平成 30 年度は、期首 102 会員から 3 会員純減して 99 会員となった。会費実勢額（月会費×12 ヶ月）は、721.2 万円となった。

BIZCOLI 会員の内訳（99 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	6	フルタイム+土曜日	5
デイトタイム	11	デイトタイム+土曜日	2
ナイトタイム	48	ナイトタイム+土曜日	11
土曜日	16	合 計	99

（2）理事会、評議員会、幹事会、企画委員会の開催

公益財団法人に移行して 6 年目を迎え、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。また、幹事会や企画委員会を定例化して、公益財団としての組織力を強化している。平成 30 年度は理事会を 5 回、評議員会を 4 回開催した他、幹事会を 2 回、企画委員会を 1 回開催した。幹事会提案による自主研究の報告会として「ITS が拓く地域経済活性化」をテーマに開催した。

①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議 案 等
5 月 21 日 (月)	第 26 回理事会	【決議事項】 第 1 号議案 平成 29 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 平成 29 年度決算（案）について 第 3 号議案 幹事の選任について 第 4 号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第 1 項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第 2 項 その他
7 月 5 日 (木)	第 27 回理事会 (書面)	【決議事項】 第 1 号議案 幹事の選任について

		第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 助成先の決定について
8月17日 (金)	第28回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について 第3号議案 評議員会(書面表決)の招集について
10月22日 (月)	第29回理事会	【決議事項】 第1号議案 平成30年度更正予算(案)について 第2号議案 顧問、参与の委嘱について 第3号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 平成30年度上期事業報告について 第2項 代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 その他
3月4日 (月)	第30回理事会	【決議事項】 第1号議案 平成31年度事業計画(案)について 第2号議案 平成31年度予算(案)について 第3号議案 内閣府への定期提出書類について 第4号議案 幹事の選任について 第5号議案 顧問、参与の委嘱について 第6号議案 評議員会の招集について 第7号議案 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品の選定について 【報告事項】 第1項 創立70周年記念事業の進捗について 第2項 その他

②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議案等
6月13日 (水)	第18回評議員会	【決議事項】 第1号議案 平成29年度事業報告(案)について 第2号議案 平成29年度決算(案)について 第3号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第1項 その他
8月31日 (金)	第19回評議員会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 評議員の選任の件
11月16日 (金)	第20回評議員会	【報告事項】 第1項 平成30年度上期事業報告について 第2項 平成30年度更正予算について 第3項 顧問、参与の委嘱について 第4項 幹事会の開催について 第5項 企画委員会の開催について 第6項 その他
3月15日 (金)	第21回評議員会	【決議事項】 第1号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第1項 平成31年度事業計画について 第2項 平成31年度予算について 第3項 幹事の選任について

		第4項 顧問、参与の委嘱について 第5項 九経調地域研究助成・顕彰事業 顕彰作品について 第6項 その他
--	--	--

③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議案等
6月15日 (金)	第8回幹事会 (書面)	議案I 幹事会議長の選任について
2月28日 (木)	第9回幹事会	1 新幹事の紹介 2 平成30年度幹事会からの提案による自主研究の中間報告 3 平成31年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定 4 創立70周年記念事業の進捗報告

④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議案等
12月6日 (木)	企画委員会	1 平成30年度自主研究の中間報告 2 平成31年度自主研究テーマ(案)について 3 創立70周年記念事業の進捗報告 4 その他

(3) 人材育成の強化

当会では、研究員の資質向上に取り組み、専門分野に偏らない、新しい分野への知見の蓄積を進めている。また、国内・海外を問わず外部との交流を積極的に行うことで、各研究員がネットワークを広げることを重視している。

平成30年度は、前年度に続いて新卒社員を採用したことから、若手研究員の育成に力を入れている。前年度から引き続いて、研究員3年目研修として(株)日本経済研究所主催の地域シンクタンク研修等への参加、及び新人研究員を対象に九州大学政策デザイナー養成講座聴講を通じたグループワークの心得などの能力向上を図ったほか、新たな分析技術・知識の共有化を促すため、新人研究員自らが講師となって研究員に必要な情報技術を活用した分析ツールの紹介等を行う講習を開催した。

資料

1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 57 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。その手段の一つとして、会員をはじめとする外部からの依頼に応え、当会から講師を派遣した。

【講師派遣一覧】

日程	依頼先	会合名・タイトル	講演者	参加者数
4月10日 (火)	福岡県経営者協会	スマホ時代の新しい消費と流通	大谷次長	20人
4月13日 (金)	三菱電機(株)九州支社	九州支社 経営方針説明会「九州経済の短・中期見通しについて」	小柳研究主査	60人
4月16日 (月)	九州電力(株)東京支社	九州経済講演会「スマホ時代の新しい消費と流通」	大谷次長	50人
4月16日 (月)	(株)西日本新聞社	西日本新聞 新聞広告基礎講座【2】九州経済情報の収集と編集からみた「新聞」	能本主任研究員	50人
4月17日 (火)	福岡銀行協会	福岡銀行協会情報交換会「スマホ時代の新しい消費と流通」	大谷次長	20人
4月17日 (火)	(株)サワライズ	社内研修会「2018年度の九州経済の見通し」	小柳研究主査	20人
4月20日 (金)	日本証券アナリスト協会	スマホ時代の新しい消費と流通	大谷次長	15人
5月19日 (土)	福岡県土木長友会	福岡県土木長友会講演会「道を生かす」	藤井次長	90人
5月19日 (土)	日本経営診断学会九州支部	スマホ時代の新しい消費と流通	大谷次長	20人
5月23日 (水)	柳川商工会議所	柳川・大川商工会議所合同研修「スマホ時代の新しい消費と流通」	大谷次長	75人
5月24日 (木)	佐賀県	佐賀県産業人材確保プロジェクト推進会議総会	大谷次長	20人
6月5日 (火)	熊本県	熊本県内中山間地域における農業集落等実態調査 報告会	能本主任研究員	40人
6月14日 (木)	(一財)九州産業技術センター	九州・台湾環境エネルギービジネス交流会～太陽光発電 O&M 市場の展望～	藤井次長	80人
6月19日 (火)	(一社)九州経済連合会	全国経済人連合会（韓国）「Japan Insight Trip 2018」	小柳研究主査	12人
6月29日 (金)	九州産業大学	九州産業大学講演会	岡野部長	25人
7月14日 (土)	九州女子大学	図書館司書希望者への BIZCOLI 案内	岡野部長	27人
7月26日 (木)	福岡不動産鑑定士懇話会	ニュータウン地域における高齢化の現状	竹下研究員	13人
7月27日 (金)	(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会	太陽光発電アフターメンテナンス協会 太陽光発電 O&M セミナー 「太陽光発電の 3R 事業化促進事業の取組み」	藤井次長	35人
8月17日 (金)	(株)福岡リアルティ/福岡地所 (株)/(株)エフ・ジェイ ホテルズ	中期的な福岡都市圏の成長の可能性	片山部長	40人
8月23日 (木)	九州環境エネルギー産業推進機構	第117回エコ塾 in 宮崎基調講演「九州の太陽光発電の O&M の実態と九州からの挑戦」	藤井次長	47人

8月28日 (火)	久留米学術研究都市づくり推進協議会	久留米市経済の現状とその構造～久留米市産業 連関表より	片山部長	40人
9月14日 (金)	NEXCO 西日本九州支社	平成30年度第2回九州支社CS推進本部会議「都 市再構築と地方創造のデザイン」	藤井次長	34人
9月14日 (金)	公益財団法人トヨタ財団(NPO 法人アカツキ)	トヨタ財団「国内助成プログラム」公募説明会 in 福岡 「市民活動団体等向け調査技法」	原口研究員	45人
10月3日 (水)	佐賀市	講演会「未来の年表」～人口減少佐賀でこれから起 きること～ プログラム第1部「佐賀市の人口の見通し」	中川主任研究員	384人
10月17日 (水)	百道会	百道会10月例会「人材枯渇時代を生き抜く地域戦 略」	大谷次長	50人
10月20日 (土)	大学行政管理学会(事務局:西 南学院大学)	大学行政管理学会 特別シンポジウム「大学におけ る将来構想をともに考える」	大谷次長	40人
10月23日 (火)	西日本新聞社	日本政策金融公庫 10周年記念 地域活性化シン ポジウム 海外展開やインバウンド需要への対応について	岡野部長	205人
10月24日 (水)	九州地方整備局	地域活性化企画研修	片山部長	25人
10月26日 (金)	熊本県・ポリテクセンター熊本	高齢者雇用促進セミナー「65歳超従業員の仕事 力化を考える 年齢にかかわらず企業で働く『しくみ』 づくり」	大谷次長	70人
11月2日 (金)	㈱三井住友銀行 熊本法人営 業部	取引先向け講演会	小柳研究主査	60人
11月9日 (金)	㈱九州総合設計	社内研修会「九州の社会経済構造／九州の最近の 景気動向」	小柳研究主査	24人
11月14日 (水)	九経局、福岡県、九州環境エ ネルギー産業推進機構、(一 社)太陽光発電アフターメン テナンス協会、九経調	太陽光発電所のO&Mと中古売買の関係	藤井次長	92人
11月15日 (木)	九州ビルディング協会	九州ビルディング協会 11月例会「九州経済・産業の 動向～図説九州経済2019から」	藤井次長	51人
11月16日 (金)	玄友会	玄友会勉強会「成長都市・福岡の強み」	小柳研究主査	60人
11月21日 (水)	福岡城南ロータリークラブ	福岡城南ロータリークラブ例会「ロータリー財団グロ ーバル補助金奨学生としての留学ご報告」	平松研究員	65人
11月22日 (木)	エア・ウォーター・マテリアル㈱	インテグリス製品 勉強会	岡野部長	20人
11月30日 (金)	九州運輸局	第63回九州運輸コロキウム「欧米豪からみた九州 の関心度」	島田研究主査	200人
12月4日 (火)	㈱レイメイ藤井	レイメイ藤井会	小柳研究主査	42人
12月8日 (土)	あおもり新幹線研究連絡会	新幹線フォーラム「青函・北陸・九州 新幹線は地域 をどう変えるのか」	大谷次長	35人
12月11日 (火)	福岡県	太陽光発電事業の適性化に向けた取組に関するセ ミナー	藤井次長	118人
12月12日 (水)	九州財務局 宮崎財務事務所	第2回みやざき活性化フォーラム「中核企業と地域 産業の新陳代謝 ～コラボレーションによる新事業 で変わる地域産業のカたち～」	岡野部長	30人
12月13日 (木)	三井住友信託銀行 福岡支店	三井住友信託銀行福岡支店 90周年記念セミナー 「九州地区のインバウンドの現状と将来動向」	島田研究主査	130人
12月19日 (水)	北九州市立大学	環境都市論「九州の再生可能エネルギー」	松嶋主任研究員	50人
12月26日 (水)	(一社)九州経済連合会	九州経済連合会事務局員勉強会「2019年度九州 経済の見通し」	小柳研究主査	30人
1月22日 (火)	九州運輸局	物流効率化シンポジウム in 大分	岡野部長	140人

1月25日 (金)	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	第6回太陽光発電技術戦略委員会	藤井次長	30人
1月29日 (火)	三井不動産リアルティ九州(株)	リアルティセミナー	島田研究主査	60人
2月5日 (火)	(一社)九州経済連合会	第2回長崎地域委員会「異業種参入からの農業への参入の現状と今後の展開」	岡野部長	35人
2月6日 (水)	(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター	第2回福岡県太陽光発電(PV)保守・リサイクル推進協議会「長期安定稼働を見据えた太陽光発電所のO&Mとセカンダリマーケットを巡る動向」	藤井次長	30人
2月13日 (水)	大分県	大分県政策委員会「外国人労働者の受け入れについて」	大谷次長	50人
2月15日 (金)	(一社)九州経済連合会	第2回宮崎地域委員会「IoTの現状と今後の展望」	岡野部長	32人
2月17日 (日)	(公財)久留米市生きがい健康づくり財団(久留米市生涯学習センター)	平成30年度 時事講座・後期	小柳研究主査	60人
2月19日 (火)	熊本/大分経済同友会	熊本大分経済同友会交流懇談会「スポーツの成長産業化と九州経済」	片山部長	50人
2月22日 (金)	南小国町	南小国町 ドローンを活用したまちづくりシンポジウム	松嶋主任研究員	50人
2月28日 (木)	(株)オービック	オービック情報システムセミナー「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長	50人
3月13日 (水)	福岡県経営者協会	福岡県経営者協会一月会「スポーツの成長産業化と九州経済」	大谷次長	50人
3月13日 (水)	(株)福岡リアルティ	定期研究会「2019年、2020年の国際的なイベントがもたらす福岡・九州への経済効果」	片山部長	50人

2. セミナー等への参加・企画協力(計19件)

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLIの会議室提供などで協力した。

【協力実績】

日程・場所	主催者	会合名	備考
5月8日(火)～10日(木) 福岡国際会議場	アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018福岡実行委員会	アジア太平洋地域 ITS フォーラム 2018 福岡	後援
6月4日(月) TKP ガーデンシティ天神	(一社)九州ニュービジネス協議会	第139回ベンチャープラザ二月会	後援
7月10日(火) 久留米シティプラザ	駐福岡大韓民国総領事館、久留米市、 大韓貿易投資振興公社	2018 韓国人材活用セミナー in 久留米市	後援
7月19日(木) 福岡アジア美術館	(公財)福岡アジア都市研究所	住みやすく 働きやすい 都市『福岡』のしくみを考える	後援
8月6日(月) TKP ガーデンシティ天神	(一社)九州ニュービジネス協議会	第140回ベンチャープラザ二月会	後援
9月14日(金) BIZCOLI	(公財)トヨタ財団/認定 NPO 法人ア カツキ	トヨタ財団「国内助成プログラム」公募説明会 in 福岡～地域課題解決に取り組む市民活動団体等のための調査技術入門セミナー	後援
10月16日(火) 電気ビル共創館	福岡県、福岡経済同友会	第6回社会貢献セミナー・交流会 「企業と NPO との協働推進～社会貢献セミナー～」	後援
10月22日(月) 電気ビル共創館	(一社)ジャパン・コスメティックセン ター	九州コスメセミナー	共催

11月12日(月) BIZCOLI	計測自動制御学会	特別講演会「社会とデザイン」	共催
11月14日(水) 博多バスターミナル	九州経済産業局/福岡県/九州環境エネルギー産業推進機構/(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会/九経調	太陽光発電所メンテナンスビジネスのあり方と発電所中古売買 セミナー	共催
11月19日(月)・26日(月)・12月3日(月)・10日(月) BIZCOLI	福岡大学、㈱福岡銀行	「福岡大学×福岡銀行」アイデアソン	協賛
11月22日(木) 福岡市科学館	(公財)福岡アジア都市研究所	平成30年度第2回都市セミナー 「eスポーツの今と未来」～eスポーツによる都市・地域の活性化と将来展望～	後援
11月28日(水) ㈱新出光ファシリティーズ 新門司ソーラーパーク	九州経済産業局/福岡県/北九州市/(一社)太陽光発電アフターメンテナンス協会/九経調	メンテナンス技術者育成講座 PVams O&M メニュー研修会	共催
12月22日(土) BIZCOLI 交流ラウンジ	(公社)日本気象学会、福岡管区気象台、(一社)日本気象予報士会	気象サイエンスカフェ in 九州～2018年夏の「危険な暑さ」その真相に迫る	後援
1月29日(火) 熊本キャッスルホテル	マレーシア投資開発庁、国際機関日本アセアンセンター	マレーシアにおける電子・電機産業の現状と展望/Industry4.0とビジネス機会	後援
2月13日(水) 九州大学	九州大学	九州大学「持続可能な社会を拓く決断科学大学院プログラム」成果報告会	後援
2月16日(土) TKP ガーデンシティ天神	福岡市	福岡市「ライフプラン応援セミナー」～「人生の実りの秋」に始めよう！」	共催
3月2日(土) 電気ビル本館	日本学術会議若手アカデミー	地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化 シチズンサイエンスを通じた地方課題解決～市民と科学者が“つながる場”について考える～	共催
3月7日(木) レソラ天神	EY 新日本有限責任監査法人	成長シナリオと課題解決型ビジネスモデル	後援